



## 年の初めに日本人の礼節について考えてもらいたい

新年早々の通勤途中、横断歩道を渡ろうとしている羽合小学校の児童たちを見かけた。私は車を止め、その児童が横断歩道を渡るのを見送ってから車をスタートさせようとした。その時、その児童たちが次々に、一礼とともに「ありがとうございました」と大声で言ってくれた。その児童たちにとっては当たり前の一言だったのかもしれないが、私は朝からとてもさわやかな気持ちになった。法律的には、横断歩道を渡っている人または渡ろうとしている人がいる時、自動車は一旦停止しなければいけない。自動車は止まるのが当たり前なのだ。しかし、横断歩道を渡ろうとしている小・中学生の多くは、止まってくれた車に対して感謝の礼をする。日本人の良さである礼節（礼儀に節度加えられ、心が伴っているもの）という当たり前は、こうやって育まれていくのだと感じた。

また私たち日本人は、レストラン等で食事をしたとき、お店の方に対して当たり前のように「ごちそうさまでした」と感謝の気持ちを込めて言う。お金を払っているのだから、お店側が食事を提供するの当たり前だという考え方の国もある。しかしそんなお客さんの一言が、お店の人にとっては大きな励みになっているという話を聞いたことがある。そんな互いを思いやる行動や言動が当たり前のようにできるのが日本人のすごいところだと思う。

海外からの旅行者の人たちにとっても、日本で最も感動するのは日本人の対応（礼節）の素晴らしさだそう。そんな日本人の礼節は、今後さらに私たちの誇りとなっていくような気がしてならない。湯梨浜中学校の生徒のみなさんには、そんな礼節をぜひ大切にしてもらいたいと思う。

### 教職員の休みに伴う対応について

2年2組担任の平野が、家庭の事情で県外の自宅に帰らなければいけなくなりました。つきましては、しばらくの間、休暇をいただくことになりましたので、次のような対応をとらせていただきます。

2年2組の担任業務は杉原と学年主任の金田が行い、2年1、2組の数学の授業は岡本が、3、4組は齋尾が、G組は宮本が行うことになりました。また、ソフトボール部については、あとひとりの顧問である橋本がそのまま担当します。

2年の生徒たちには、8日に校長が説明を行いました。平野の休暇中、生徒、保護者の皆様にはたいへんご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をお願いしますとともに何かありましたら遠慮なく学校に連絡をお願いいたします。

## インフルエンザ警報が発令されています ~マスク着用にご協力を~

県内全域に「インフルエンザ警報」が発令されています。本校でも始業式の日からインフルエンザの罹患者が増えていますので、全校生徒のマスク着用にご協力をお願いします。また3学期は、学校で少しでも体調が悪くなったり、発熱したりした場合には、すぐに早退してもらうことになると思います。校内で、風邪やインフルエンザ、新型コロナウイルスを流行させるわけにはいきませんので、ご理解とご協力をお願いします。

特に、毎日のように誰かが受験に行っている3年生についてはなおさらです。各学校とも追試験はありますが、入試の途中から発熱したり、体調が悪くなったりする生徒が毎年いるそうです。そんなことが湯梨浜中の生徒たちに起こらないためにも、学年全員、そして各家庭で気をつけてもらいたいと思います。

ホームページで日々の学校生活の様子を紹介しています。

<https://www.torikyo.ed.jp/yurihama-j/>

